

新大阪地区の基礎情報

1. 地区の概要
2. 人口総数
3. 土地利用状況
4. 都市計画の指定状況
5. 都市再生緊急整備地域
6. 地域防災計画
7. 景観計画
8. まちづくりの動き
9. みどりの現況

1. 地区の概要

- 道路：南北方向には、新御堂筋線高架橋、国道176号線が、東西方向には歌島豊里線が走る。
- 鉄道：南北方向には新大阪駅を通るJR京都線、大阪メトロ御堂筋線、東西方向に山陽新幹線が走る。
- 公園：南北に淀川と神崎川がそれぞれ位置し、淀川沿いには淀川河川公園がある。



2. 人口総数

- JR新大阪駅の東側、北側は共同住宅や一戸建て住宅などの住居系であり、人口総数も多い。
- JR新大阪駅の南側は業務施設が多く、人口総数は少ない。

内容		着色
人口総数（人）	0	
	1 - 499	
	500 - 999	
	1000 - 1499	
	1500 - 2499	
	2500 - 3999	
	4000 - 8499	
	8500 - 17417	

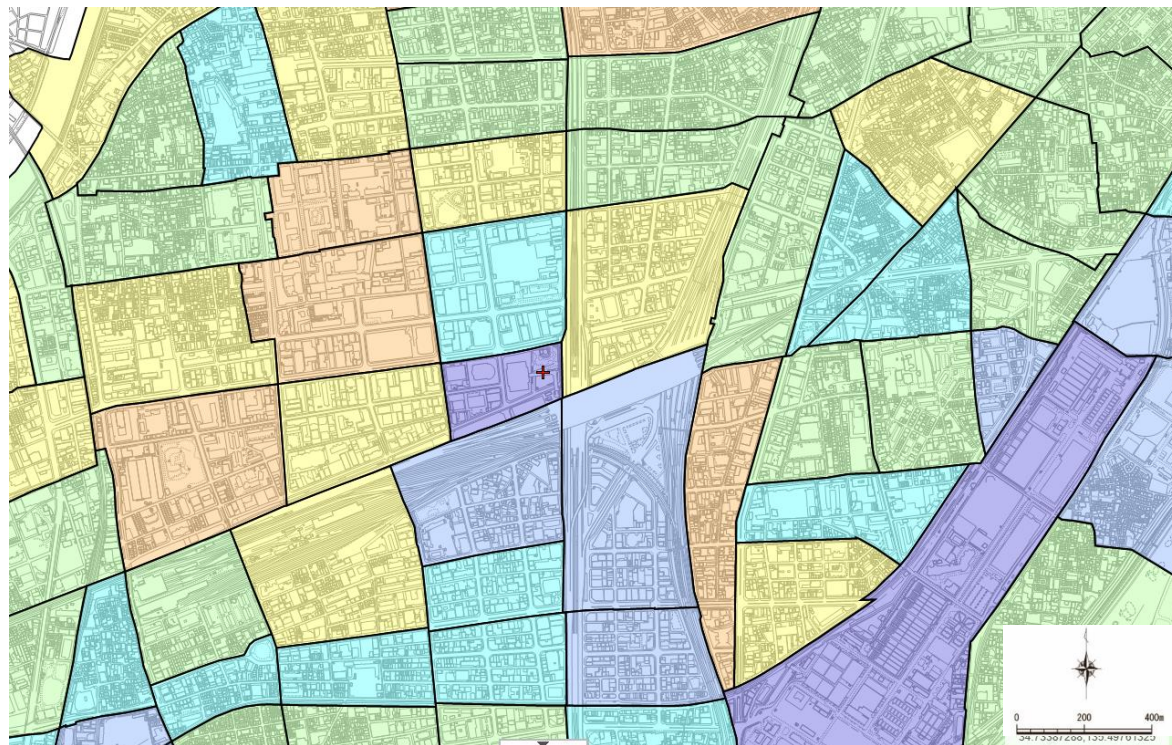
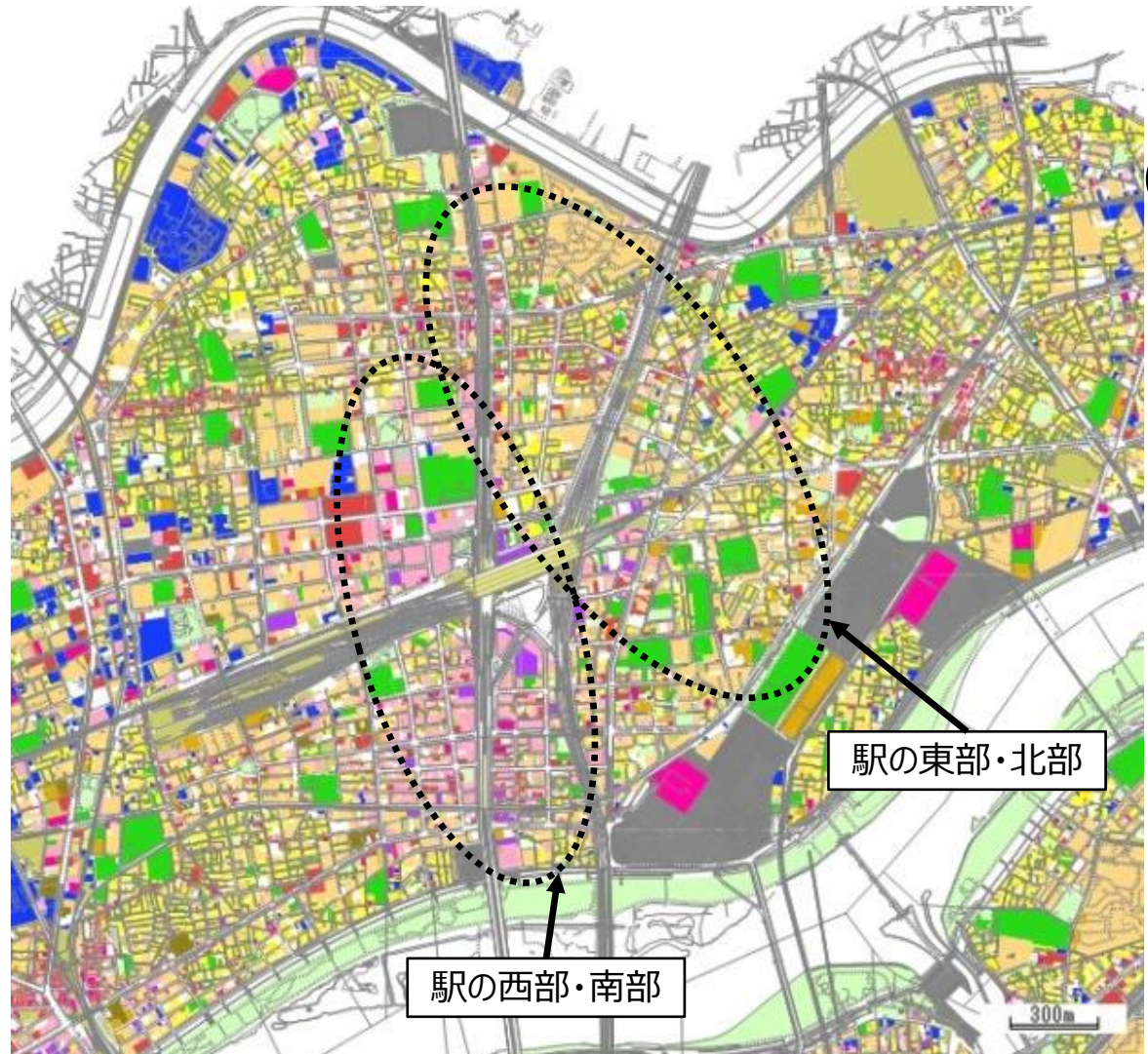


図 人口総数 R2年

3. 土地利用状況

- 新大阪駅の東部・北部では、共同住宅や一戸建て住宅が多く、府立東淀川高校など文教施設も混在している。
- 新大阪駅の西部・南部では、業務施設、販売商業施設が集積しており、ワーカーも多く存在すると考えられる。
- 新大阪駅周辺は宿泊施設も充実しており、遠方からの来阪者の滞在が想定される。

土地利用状況	
一戸建て住宅	
長屋住宅	
共同住宅	
販売商業施設	
業務施設	
文教施設	
医療厚生施設	
遊興・娯楽・サービス施設	
宿泊施設	
工業施設	
供給施設	
運輸通信施設	
官公署施設	
その他施設	
公園・緑地・お墓	
建物のない土地	



4. 都市計画の指定状況 - (1) 用途地域

用途地域・容積率・建ぺい率

用途地域	容積率	建ぺい率
第2種中高層住居専用地域	300%	60%
	200%	60%
第1種住居地域	300%	80%
	200%	80%
第2種住居地域	400%	80%
	300%	80%
準住居地域	400%	80%
近隣商業地域	300%	80%
商業地域	800%	80%
	600%	80%
	400%	80%
工業地域	300%	60%
	400%	80%
	400%	60%
	300%	80%
	200%	80%
準工業地域	200%	60%
	300%	80%
	300%	60%
	200%	80%
	200%	60%

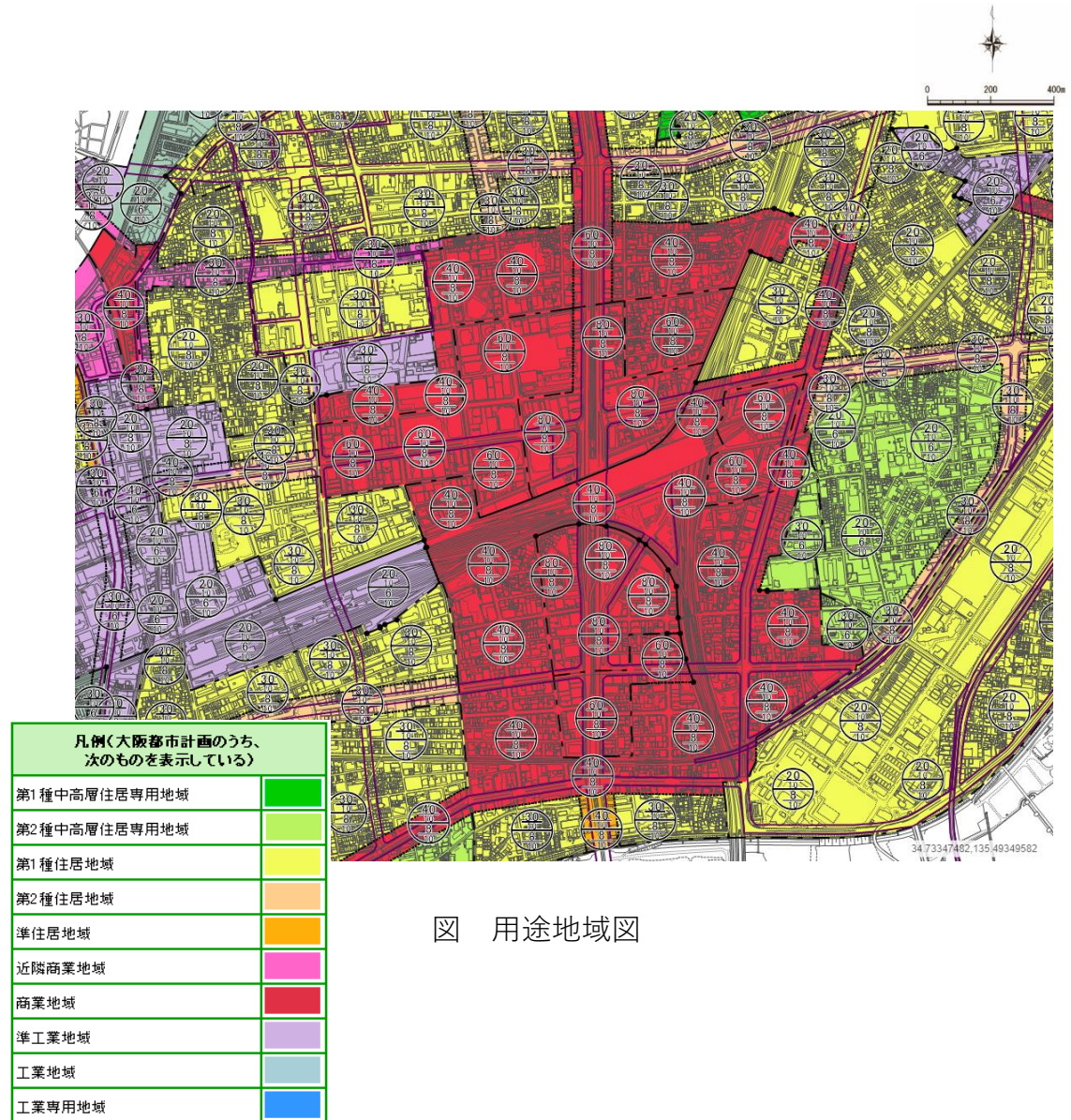


図 用途地域図

4. 都市計画の指定状況 - (2) 生産緑地地区

生産緑地地区

市街化区域内において緑地機能及び多目的保留地機能の優れた農地等を計画的に保全し、良好な都市環境の形成に資することを目的に、都市計画の「地域地区」のひとつとして定められた区域。

凡例(大阪都市計画のうち、次のものを表示している)	
特別用途地区 (中高層階住居専用地区(第1種))	
特別用途地区 (中高層階住居専用地区(第2種))	
特別用途地区(工業保全地区)	
高度地区	
高度利用地区	
特定街区	
都市再生特別地区	
風致地区	
駐車場整備地区	
臨港地区	
特別緑地保全地区	
生産緑地地区	
都市計画区域境界・市界	
都市計画道路・都市高速鉄道 (連続立体交差)	

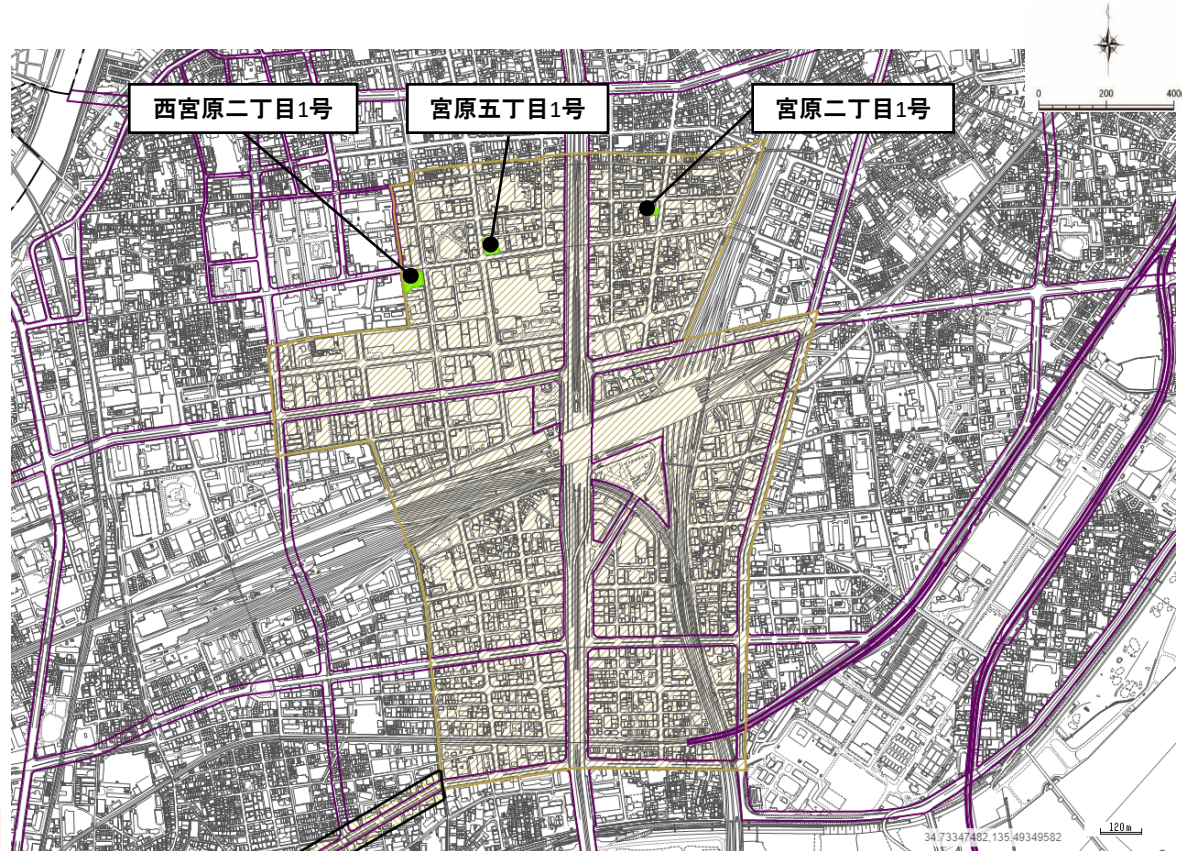


図 生産緑地地区

5. 都市再生緊急整備地域

都市再生緊急整備地域（約114ha）

国土において、スーパー・メガリージョンを形成するリニア中央新幹線をはじめ、北陸新幹線、大阪都市再生環状道路などの高速交通ネットワークの形成が進む中、新幹線や広域幹線道路などの国土軸と、世界につながる関西国際空港から大阪の都心を通る都市軸が交わり、関西の各拠点を結ぶ広域交通の結節点である新大阪駅を中心に、近接する十三駅エリア及び淡路駅エリアと一体となって、広い圏域の人と人との交流を促進するとともに、異なる交通モードを効果的に結節し、世界につながる関西のゲートウェイとしてふさわしい都市の空間を兼ね備え、災害にも強い、日本の成長を支える国際的な都市拠点を形成し、広域交通ターミナルを核とした世界有数のまちづくりを実現する。

内容	着色
都市再生緊急整備地域	

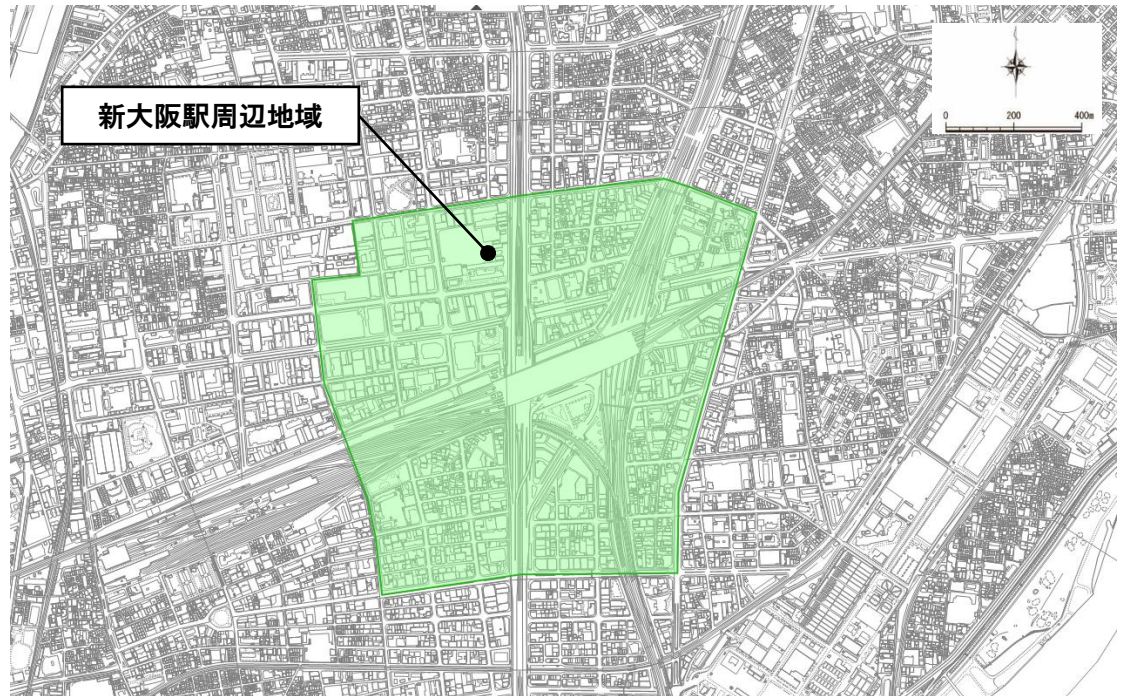


図 都市再生緊急整備地域

6. 地域防災計画

防災関連施設

① 広域避難場所

・新大阪駅北側、十三柴島

② 一時避難場所・災害避難場所

北中島公園、三国中公園、三国本町公園、宮原公園、木川公園、東淀川高等学校、西町公園、西中島小学校、木川北公園、日之出北公園、日之出公園、山口本町公園、西中島東公園、西淡路公園、日之出南公園、日之出東公園、新駅2号公園、東淀川支援学校

③ 緊急避難路（広域 重点14路線）

・国道176号、新御堂筋

内容	アイコン
広域避難場所	
一時避難場所	
一時避難場所・災害時避難所	
災害時避難所	
津波避難ビル・水害時避難ビル	
避難路	
広域(重点14路線)	
緊急交通路	
広域(重点14路線以外)	
地域	
災害時用ヘリポート	
防火水槽・プール(指定水利)	
防災スピーカー	

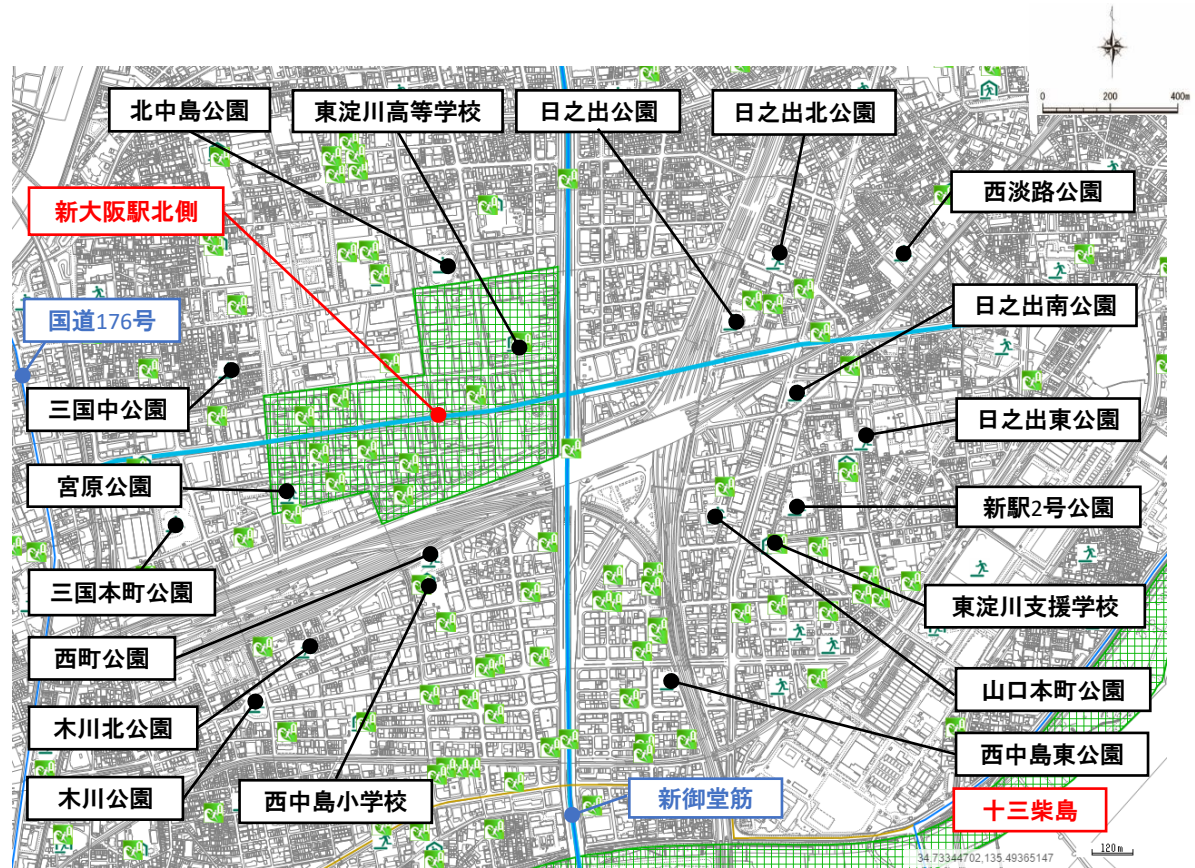


図 防災関連施設

7. 景観計画 - 景観計画区域

景観計画区域

景観形成の目標の実現に向け、市域全域を景観計画区域として定め、景観計画区域は、①基本届出区域及び、②重点届出区域により構成し、地域特性に応じたきめ細かな景観形成を図ることが示されている。

新大阪駅周辺地区の検討範囲内では、重点届出区域はなく、JR新大阪駅の北側の範囲のみ都心景観形成区域（基本届出区域）に指定されている。

内容	着色	
基本届出区域		
都心景観形成区域(重点届出区域を除く)		
臨海景観形成区域		
一般区域		
重点届出区域		
御堂筋地区	(各街路*及び各街路に面する敷地に限る) *隅切り部分を含む	
堺筋地区		
四つ橋筋地区		
なにわ筋地区		
土佐堀通地区		
国道2号地区		
中之島地区		
その他		
御堂筋デザインガイドライン区間		

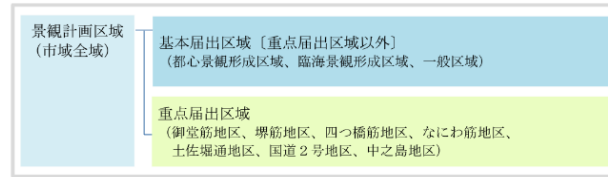


図 景観計画区域

8. まちづくりの動き - (1)まちづくり方針2022の内容①

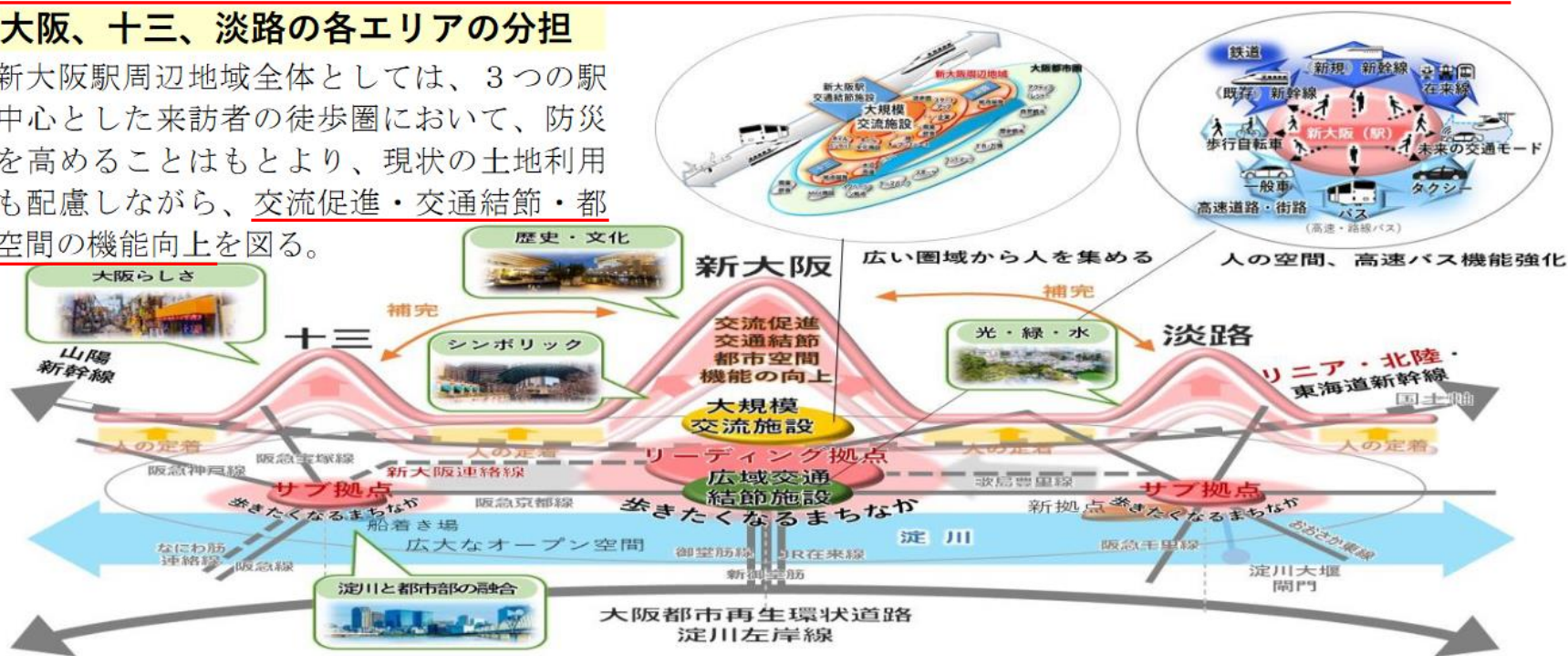
○新大阪、十三、淡路の各エリアで役割分担しながら、交流促進・交通結節・都市空間の機能の向上を図ることとしている。

○新大阪駅周辺地域が担うべき役割

①スーパー・メガリージョンの西の拠点 ②広域交通のハブ拠点 ③関西・アジアのゲートウェイ

○新大阪、十三、淡路の各エリアの分担

新大阪駅周辺地域全体としては、3つの駅を中心とした来訪者の徒歩圏において、防災性を高めることはもとより、現状の土地利用にも配慮しながら、交流促進・交通結節・都市空間の機能向上を図る。



8. まちづくりの動き - (1)まちづくり方針2022の内容②

- 新大阪駅エリアについては、エリア計画を策定。
- ハード整備については、新幹線新駅関連プロジェクトと民間都市開発プロジェクトを進めていくこととしている。
- ハード整備と合わせて、ソフト施策を官民一体で取り組むことにより、エリア価値の向上を図ることとしている。

まちづくりの基本的な進め方

○都市機能の向上を図るゾーン

ビジネスや観光での駅からまちへの人の流れと、周辺から駅への人の流れが交わる駅から500m圏域（来訪者の徒歩圏）で、まとまりのある商業地域などを、都市機能の向上を図るゾーンとする。

○まちづくりの進め方

〔駅まち一体の空間づくり(ハード整備)〕

土地利用に配慮し、駅まち一体として、駅の周辺の6ブロックごとに人の主要動線を設けて、エリア価値の高める機能の集積と、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を図る。

・新幹線新駅関連プロジェクト

広域交通結節施設、大規模交流施設、駅とまちをつなぐ歩行者動線、新大阪連絡線新駅ビル開発

・民間都市開発プロジェクト

大規模な敷地における建て替え、土地利用転換などの開発

〔人と人をつなぎエリアの活性化を図る取組み(ソフト施策)〕

エリアの価値を高めるために官民連携したソフト施策が必要であり、まちづくりを担う組織やプロジェクト組成の取り組みを進める。



図9. 都市機能の向上を図るゾーン

- 新大阪駅エリアについては、エリア計画を策定。
- ハード整備については、新幹線新駅関連プロジェクトと民間都市開発プロジェクトを進めていくこととしている。
- ハード整備と合わせて、ソフト施策を官民一体で取り組むことにより、エリア価値の向上を図ることとしている。

リニア中央新幹線・北陸新幹線の駅位置を踏まえて、以下の4つの関連プロジェクトの検討の具体化を進める。

鉄道・道路とまちを繋ぐ役割を担う交通結節施設は、利便性・円滑性・快適性の観点から、歩行者・自動車等交通・利用者サービスの空間をバランスよく設ける。

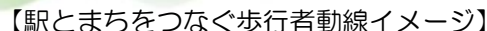
現状の課題解決はもとより、人の空間の拡充及び高速
バスの拠点化に向けて、多層化の検討を進める。

新大阪駅の3Fの南北通路から6ブロックの方面に、駅、交通結節施設などと民間都市開発の低層部を一体的な空間として、動線を確保するとともに、賑わいや潤いのある連続的な空間形成を図る。

0.5～1ha規模以上で、広い圏域からの人の集積が可能な空間の確保などを図る。

新大阪と十三のネットワークを強化する新大阪連絡線の
新駅は、新大阪駅の北西部として、駅ビル整備と合わせて
一体的にエリアの価値を向上する機能の導入を図る。

人の集積を図るために、大規模な建て替え、土地利用転換などのまとまりのある民間都市開発に合わせて、交流促進・交通結節・都市空間の機能の向上を図る。



【民間都市開発のイメージ】

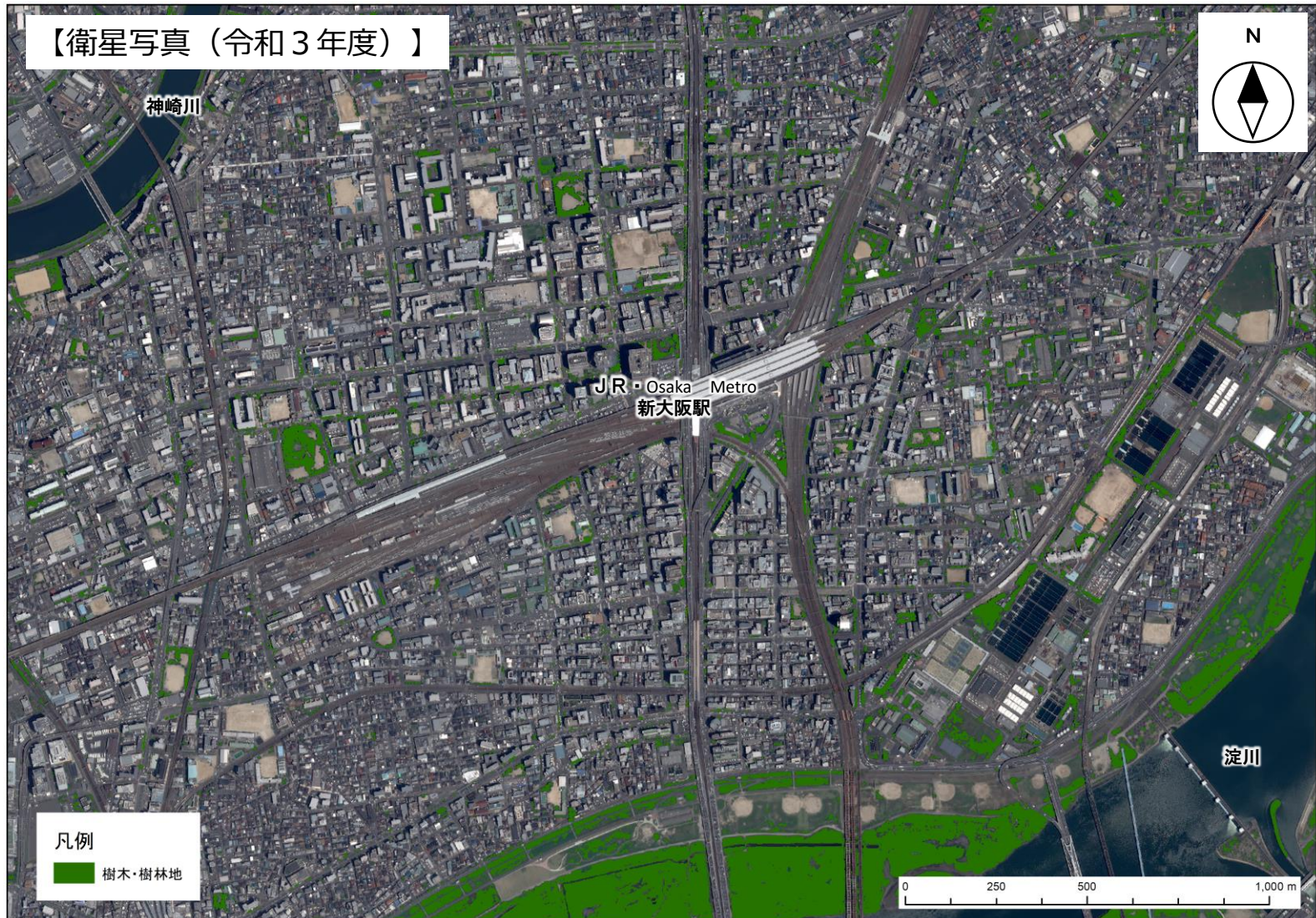
8. まちづくりの動き - (2) 予定されている開発プロジェクト

○新大阪駅周辺では、今後様々な開発プロジェクトが予定されている。



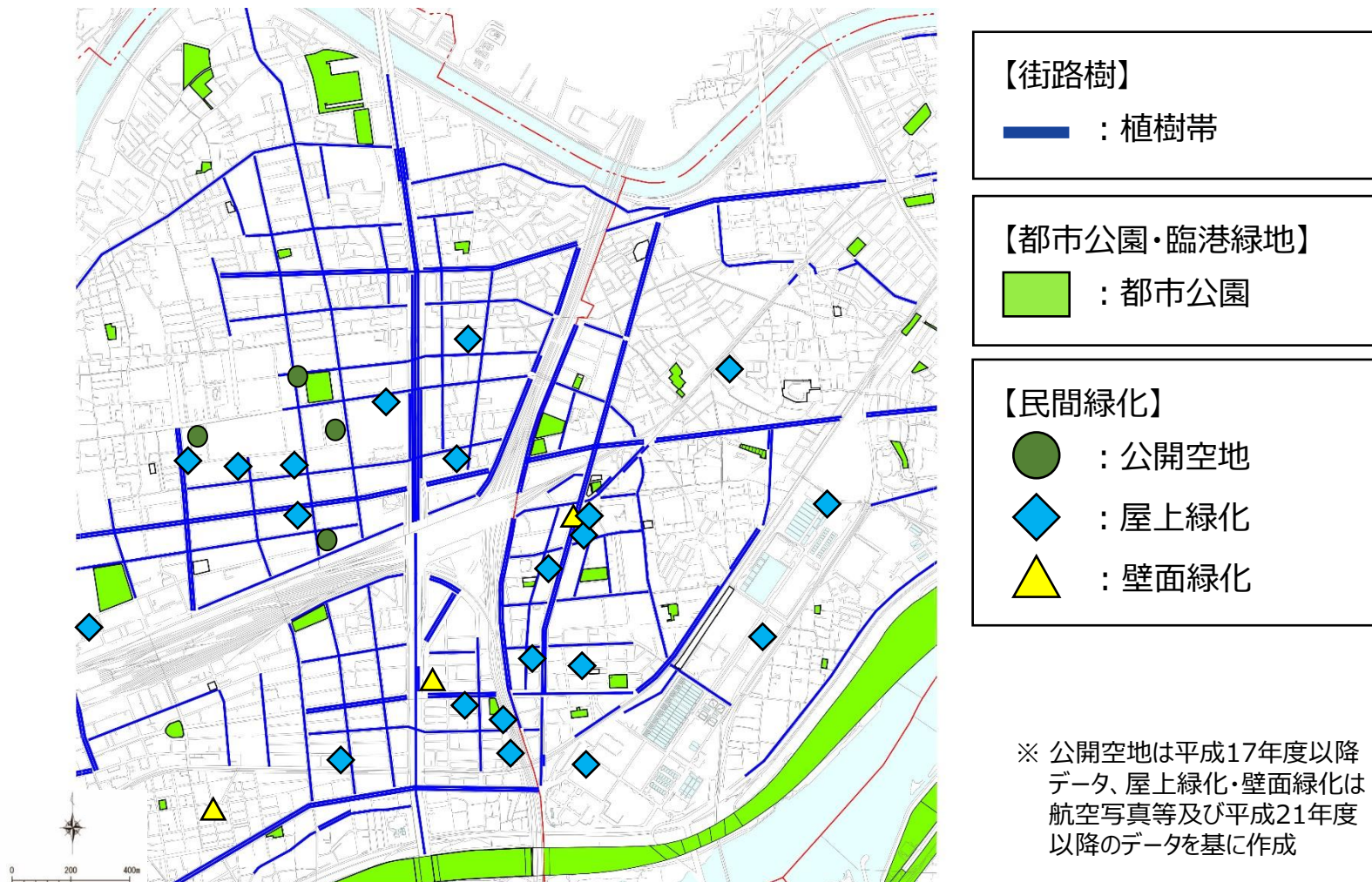
9. みどりの現況 - (1) みどりの分布

○新大阪駅周辺部は比較的小規模な緑が点在し、淀川では広大な緑の空間が広がっている。



9. みどりの現況 - (2)みどりの整備状況 ① 概況

- 新大阪駅周辺では、南北方向、東西方向のいずれの主要路線にも街路樹が植栽されており、また東部を中心に小規模な都市公園が点在している。
- 新大阪駅の周辺を中心に屋上緑化・壁面緑化が行われており、北西部には公開空地が点在している。



9. みどりの現況 - (2) みどりの整備状況 ② 都市公園

JR京都線沿いには、グラウンド部分と遊具部分に分かれる日之出公園があるほか、線路東側にはマンションに囲まれ親子連れなどでにぎわう小規模な公園がいくつかある。

また、山陽新幹線沿いの西町公園は多くの樹木が植えられている緑豊かな公園であり、色々な電車を眺めながらくつろげる公園として人気がある。

	公園名称	公園種別	開設面積	都市計画決定 公園面積
①	三国公園	街区公園	1,798㎡	0.17ha
②	三国本町公園	近隣公園	16,172㎡	1.6ha
③	野中南公園	近隣公園	9,540㎡	1.0ha
④	東三国西公園	街区公園	1,257㎡	0.13ha
⑤	北中島公園	街区公園	8,898㎡	0.89ha
⑥	西町公園	街区公園	5,544㎡	0.75ha
⑦	木川公園	街区公園	2,869㎡	0.30ha
⑧	東三国東公園	街区公園	1,653㎡	0.17ha
⑨	日之出北公園	街区公園	1,248㎡	0.10ha
⑩	日之出公園	街区公園	8,409㎡	0.85ha
⑪	日之出南公園	街区公園	2,622㎡	0.10ha
⑫	新駅2号公園	街区公園	3,985㎡	0.40ha
⑬	山口本町公園	街区公園	1,439㎡	0.07ha
⑭	西中島東公園	街区公園	1,689㎡	0.17ha
⑮	西淡路公園	街区公園	3,722㎡	0.37ha
⑯	淡路2公園	街区公園	1,744㎡	0.17ha
⑰	南方公園	街区公園	2,891㎡	0.28ha
⑱	南方南公園	街区公園	1,633㎡	0.15ha

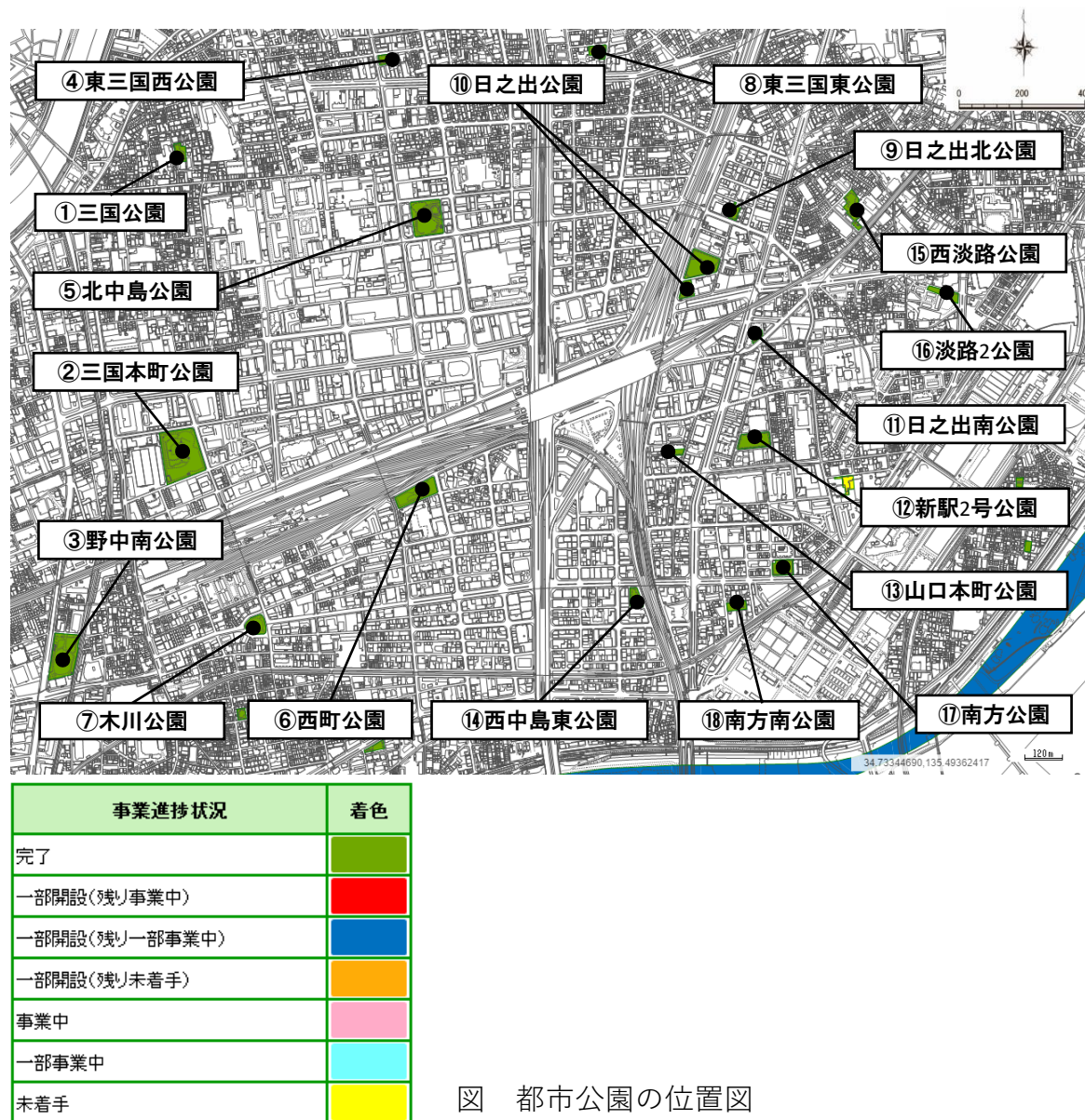


図 都市公園の位置図

9. みどりの現況 - (2)みどりの整備状況 ③ 街路樹

JR新大阪駅の周辺道路には、イチョウやハナミズキ、クスノキなどが植えられている。南北方向に通る新御堂筋にもイチョウやコブシなどが植えられている。



図 街路樹の状況

■屋上緑化・公開空地等の緑化状況

JR新大阪駅の周辺では、ホテルやビルなどの屋上緑化が進んでおり、緑豊かな景観を形成している。

※ 公開空地は平成17年度以降のデータ、屋上緑化・壁面緑化は航空写真等及び平成21年度以降のデータを基に作成

内容	着色
屋上緑化	●
公開空地	●
壁面緑化	▲

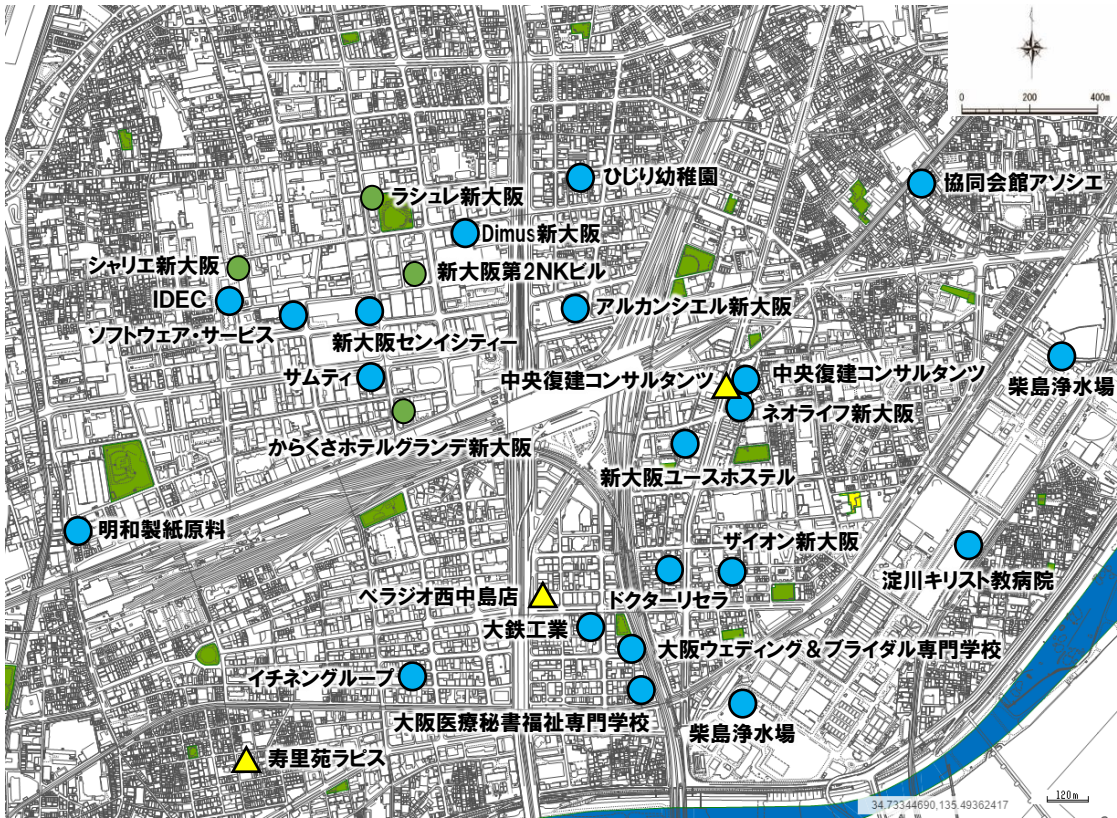


図 屋上緑化・公開空地緑化の状況